

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名 一般国道37号 虻田市街 <small>あぶた</small>	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局	
起終点 自：北海道虻田郡虻田町字旭町 <small>あぶた あぶた あさひまち</small> 至：北海道虻田郡虻田町字入江 <small>あぶた あぶた いりえ</small>		延長	3.7 km
事業概要 一般国道37号は、長万部町を起点とし、室蘭市を終点とする延長約80kmの主要幹線道路である。当該事業は、「ふれあいの道」事業による快適な沿道環境づくりの支援や有珠山噴火時の緊急避難路として重要な役割を担う延長3.7kmの二次改築事業である。			
H元年度事業化		S63年度都市計画決定	H元年度用地着手
全体事業費 約90億円		事業進捗率 91%	供用済延長 1.4km
計画交通量 13,300台/日			
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 7 / 92 億円 事業費 ：7 / 92 億円 維持管理費 ：0 / 0 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 61 / 125 億円 走行時間短縮便益 ：58 / 122 億円 走行費用減少便益 ：2 / 4 億円 交通事故減少便益 ：0 / 0 億円
	B/C (残事業) 8.1		基準年 平成15年
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.5 (交通量+10%) B/C=1.2 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.3 (事業費+10%) B/C=1.5 (事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.2 (事業期間+20%) B/C=1.5 (事業期間-20%)			
事業の効果等 ・災害への備え(対象区間は緊急輸送道路に位置付けあり) ・都市の再生(市街地再開発、区画整理事業等の沿道まちづくりとの連携あり) 他8項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 室蘭市をはじめとする関係3市3町2村の首長及び議会議長で構成される北海道室蘭地方総合開発期成会より早期整備の要望を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 洞爺湖温泉等道内有数の観光リゾート地の玄関口である当該地域は、平成12年に有珠山噴火災害から復興すべく「虻田町復興計画」に基づき各種事業を展開している。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに1.4kmを供用している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 市街地部残延長0.6kmについては、引続き用地取得が順調に進めば平成16年度頃に完成供用を図る。また、郊外部の延長1.7kmについても平成18年度頃の完成を予定している。			
施設の構造や工法の変更等 車道の全面打ち替えから路肩拡幅に見直し、歩道部の植樹帯省略による歩道幅員の見直し等コスト縮減を図っている。			
対応方針 事業継続			
対応方針の決定の理由 以上の状況を勘案すれば、事業採択時から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。